



ふなやま けいこ  
**船山 恵子**

(キセキ)

**地域防災における避難所運営について**

**問** ①避難所運営について、男女双方の視点が必要と思われるが、各自主防災会の中で女性の役員の割合はどれくらいか伺う。②内閣府男女共同参画調査で、運営に関わる委員の割合が、東日本大震災で男性 85.4%、女性 14.6%、その後の熊本地震で教訓が生かされなかったのか、男性 94%、女性 6%とむしろ下がっている。こういう現象をどう考えるか。

**部長** ①男女比率についての詳細は把握していない。ただし、女性委員の積極的な登用はお願いしている。②男女の比率の割合、確かにあると思う。女性の役員の方、女性の地区での役割というような形になると思うが、積極的に出ているのが一番いい。女性の役割は非常に大切である。一時避難所などでどのような形で

関わってくるかというところが重要になってくるかと考える。

**問** ①避難所運営に多くの女性が参加してもらうため、女性を対象とする防災講座を実施する考えはあるか伺う。②被災した方の声をきくと、女性リーダーがいないので女性ならではの悩みを聞いていただけなかったともある。仙台市では防災女性リーダー講座が行われ、誕生している。女性にも積極的に参加してくださいというようなPRや広報はしているか。

**部長** ①性別で限定した講座は考えていない。現在出前講座として、防災対策の講座を用意している、こちらを利用していただきたい。②我々が実際手を挙げてやる場合だと、なかなか集まらないのが現状。自主防災会や防災の会議でやるが、女性が少ないのが現状で、逆に言えばそういうものをつくって、積極的に我々のほうを利用していただくのが一番いい。皆さんがご希望されるのであれば、その辺も検討していきたいと考える。



ふかさわ りゅうすけ  
**深澤 竜介**

(無会派)

**富士山の麓の環境先進都市を目指して、プラスチックの分別回収について**

**問** 富士宮市では令和6年度から、プラスチックの分別回収を行う予定であるが、瓶、缶、ペットボトル、トレーのリサイクルの状況はどうか。

**部長** 瓶は瓶として再利用するものと、砕いて建築資材の原材料として利用するものがある。缶はアルミ製品や鉄製品の原材料となっている。ペットボトルは衣類や卵のパック類に生まれ変わるものと、再びペットボトルとして再生されるものがある。プラスチックはトレーのみを分別回収して、固形燃料として利用されている。

**問** リサイクルには、燃料化(サーマルリサイクル)、再生利用(マテリアルリサイクル)、廃棄物を化学合成により他の物質に変え素材や原

料にする(ケミカルリサイクル)の3つがあるが、サーマルリサイクルは結果的には燃やすのでリサイクルとしてはいかがか。

**部長** 日本ではサーマルリサイクルとっているが、国際的には全く評価されていない。

**問** 富士山の麓の環境先進都市に向けて、プラスチックを再生する企業の育成、誘致を提案するがいかがか。

**部長** 市内事業者と連携して再商品化計画の作成や一括回収の方法などについて検討していく考えである。

**「障がい者を納税者に」という考えで、ふるさと納税の思いやり型返礼品の展開について**

**問** 思いやり型返礼品\*をより充実させるため、福祉部門のふるさと納税プロジェクトチームへの加入を提案するがいかがか。

**部長** プロジェクトチームへの加入は考えていないが、引き続き連携を密にしていきたい。

\*社会貢献につながる返礼品で就労支援施設で作られた製品等のこと。